

トッププロフェッショナルが選ぶ フェイコマシーン

2024年4月20日(土) 11:50 - 12:50

東京国際フォーラム・第6会場・ホールD7

※ランチョンセミナーは要予約です。【予約事項】東京国際フォーラム地下1Fロビー・ギャラリ― 【予約日時】4月20日(土)7:15~11:30

司会

瓶井 貴弘

愛知医科大学 眼科学講座 教授

各メーカーから最新の白内障手術器具が出そろって10年余りが経過し、それぞれの器械について術式や適応症に応じた条件設定のノウハウも相当に蓄積されてきたことで、日本の眼科手術は行儀制に入りつつあります。

数ある器械の中でボシヨム社が製造販売しているステラリスシリーズは、現行の器械の中では最も古参のものとして多くの知見が蓄積されてきました。最新のエリートになってからはソフト調のインバージョンも加わり、眼内圧のコントロール等、色覚面においても非常に優秀なものになっています。また、同様に換装するフェイコハンドピースは独自の超音波処理方式を採用しており、その性能ゆえ、世界各国で高いシェアを誇っています。

そこで本セミナーでは、それらステラリスエリートの特長を生かし、オリジナリティある新たな設定を駆使しながら、より良い手術を日々行われている3名の先生方に、ご自身の使いこなしについてお話しいただきます。

演者

「全ての方に愛用していただきたいエリート ～サージフリーのフェイコマシーンへ～」

三好 雅行

医療法人協和会 三好眼科 院長

「ステラリスエリートと共に歩む当院の手術戦略」

朝生 浩

発見あそび眼科 院長

「ステラリスエリートの真価 本音のメリット、デメリット」

野口 三太郎

ツカザキ病院 眼科部長・ASUCA アイクリニック主任執刀医